



Q 最新の世界経済の見通しは？

A IMFは、世界経済が順調に回復するとの見通しを維持し、2017年、18年の見通しを上方修正しました。先進国はユーロ圏、日本が、新興国は中国、ロシアが上方修正されました。2017年はASEAN5、ブラジル、メキシコも上方修正されました。

- 国際通貨基金（IMF）は、17年の世界経済の実質GDP成長率見通しを+3.6%と、4月時点の予測と比べて0.1ポイント上方修正しました。
- 先進国・地域では、ユーロ圏と日本がけん引役となりました。一方、米国、英国が下方修正となりました。ちなみに、IMFは一部主要国の見通しを7月に修正していますが、米国は7月の修正と比べ、0.1ポイント上昇しました。米国も改善傾向にあります。
- 新興国・地域の成長率は、加速する見通しです。中でも中国は17年、18年と上方修正されました。中国政府による財政拡張政策が維持されるとの予想を反映したものです。また、ロシアも17年、18年と上方修正され、ASEAN5、ブラジル、メキシコも17年が上方修正されました。豪州、インドは下方修正となりましたが、豪州は先進国で、インドは新興国でそれぞれ相対的に高い成長率を維持しています。

【IMFの世界経済見通し（2017年10月）】

（単位：％）

	2016年		2017年（予想）		2018年（予想）	
	成長率	修正幅	成長率	修正幅	成長率	修正幅
世界全体	3.2	0.1	3.6	0.1	3.7	0.1
先進国・地域	1.7	0.0	2.2	0.2	2.0	0.0
日本	1.0	0.0	1.5	0.3	0.7	0.1
米国	1.5	▲ 0.1	2.2	▲ 0.1	2.3	▲ 0.2
ユーロ圏	1.8	0.1	2.1	0.4	1.9	0.3
英国	1.8	0.0	1.7	▲ 0.3	1.5	0.0
豪州	2.5	0.0	2.2	▲ 0.9	2.9	▲ 0.1
新興国・地域	4.3	0.2	4.6	0.1	4.9	0.1
中国	6.7	0.0	6.8	0.2	6.5	0.3
ASEAN5	4.9	0.0	5.2	0.2	5.2	0.0
インド	7.1	0.3	6.7	▲ 0.5	7.4	▲ 0.3
ブラジル	▲ 3.6	0.0	0.7	0.5	1.5	▲ 0.2
メキシコ	2.3	0.0	2.1	0.4	1.9	▲ 0.1
ロシア	▲ 0.2	0.0	1.8	0.4	1.6	0.2
南アフリカ	0.3	0.0	0.7	▲ 0.1	1.1	▲ 0.5

（注1） ASEAN5はタイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナムの5カ国。インドは年度。

（注2） 各年の修正幅は2017年4月時点の見通しとの比較。

（出所） IMFのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。